

● 診療科の特色

1. 受診すべき科がわからないときに内科初診外来として専門科へつないでいます。
2. プライマリ・ケア領域の急性疾患については当科で診断治療させていただいています。
3. 科を越えて横断的な対応が必要な患者さんや診断がつかないまま症状が窮迫している患者さんの入院主科として治療や療養にあたっています。
4. 感染症科と協力し適正な感染症治療の実現を目指しています。
5. 研修医の診療の基礎を築く手助けになるよう指導をこころがけています。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 新入院患者数 387 人(転科患者を除く)

	疾患	患者数
1	誤嚥性肺炎	80
2	急性腎盂腎炎	44
3	尿路感染症	21
4	細菌性肺炎	20
5	敗血症	16

入院患者は高齢者が多く、誤嚥性肺炎を含めた肺炎と腎盂腎炎や尿路感染症が入院疾患の約半分を占めていました。これらの入院層は、背景疾患を多く持ち、看護や介護の比重が高く、福祉への連携が必要となることがままあります。関係他科や他職種の協力をいただくことがスムーズな退院の実現には欠かせません。

● 研究業績

1. 学会、研究会

- 1) S. Kawamura; T. Kubo; K. Takada; R. Sunami; S. Okawa; Y. Iwamoto; A. Hirabae; A. Taniguchi; Y. Maeda; K. Kiura; M. Tabata; A case of interstitial pneumonia associated with systemic sclerosis and primary peritoneal serous carcinoma successfully treated with cyclophosphamide; International Cancer Conference Journal.4. 2020
- 2) サルモネラ属菌による胸椎化脊椎炎の1例
近藤 花織
第123回 日本内科学会中国地方会 2020年10月31日
- 3) 血球貪食症候群を呈し、救命困難であった重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の1例
田中 慎太郎
日本内科学会 中国地方会 2020年10月31日